



令和3年

桐ヶ丘中だより

北区立桐ヶ丘中学校
第1号
令和3年4月7日

「一人一人の力が伸びる活みなぎる学校」を目指して

～令和3年度のスタートにあたって～

校長 綿貫 正人

この4月より、千葉千恵校長の後任として本校に着任いたしました、綿貫正人（わたぬきまさひと）と申します。この3月までは隣の赤羽岩淵中学校で校長として勤務しておりました。着任して前任校と比べると、同じ北区内でもこの地域には緑が多く空が広く感じられるなどと様子が違ったり、校舎内が明るく広々とした印象を受けたりと、気分も新たに臨むことができました。

さて、新年度に入り学校周辺の桜も葉桜に代わり、春の暖かさに迎えられながら、生徒たちはそれぞれ入学・進級と環境が変わりました。改めて、141名の新入生の皆さんご入学おめでとうございます。そして、254名の2・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。

6日の始業式では、2・3年生に向けて「立場や環境が人を作る」という話をしました。

また、7日の入学式では、ナショナル（現パナソニック）の創業者・松下幸之助氏の言葉を引用して、「目標をもって地道な努力を続けることの大切さ」について、これからの中学校生活に向けての気持ちのもち方や取り組み方を話しました。いずれの話とも大人でさえ「言うは易し、行ふは難し」ですが、環境や立場が変わった生徒たちに、是非、新たな目標をもっていろいろな事にチャレンジしてほしいと思います。また、それに向けての努力を怠らず、継続した取り組みをすることでこの1年間の成長が実感できるようになることを期待しています。

世の中の現状は、まだまだ困難な状況を抜け出せたとは言えません。そのような中でも学校は、教職員全員で生徒の成長を支援していきます。生徒一人一人の可能性は無限です。失敗や成功を繰り返しながら伸びていきます。失敗を修正しつつも努力を認め、成功に対しては評価しほめることで大きく成長してくれるでしょう。そんな生徒たちが集まった学校は、活気がみなぎるに違いないと確信しています。そのためには、ご家庭の協力も不可欠であることは言うまでもありません。これからも学校として、難しい対応を迫られる場面が多くあり、各ご家庭でもご心配なことや不満に感じられることが出てくることもあるかと思いますが、連絡を密に取り、些細なことでも情報を共有しながら進めていきたいと考えています。

1年間、どうぞよろしく願いいたします。

